

「生涯学習・社会教育関係職員研修講座(初任者研修)」

日時:平成27年5月19日(火) 会場:青森県総合社会教育センター 第1研修室

1. 講義: 県社会教育行政の方針と重点

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(初任者研修)が5月19日(火)、当センターで実施されました。約30名の初任の社会教育関係職員が参加し研修が行われました。午前中の講義では県教育庁生涯学習課企画振興グループ・伊藤サブマネージャーより青森県基本計画「未来を変える挑戦」、青森県教育振興基本計画、社会教育行政方針と重点について要点を絞って説明していただきました。受講者は真剣な表情で話を聞いていました。

2. 講義: 生涯学習・社会教育の基礎知識

当センター教育活動支援課・小森課長から法律・答申等から生涯学習・社会教育の基礎知識についてのお話がありました。用語の整理や確認など、初任の受講者にもわかりやすい説明をしていただきました。

伊藤サブマネージャーによる講義



小森課長による講義



3. 講義: 社会教育関係職員と社会教育施設の役割

黒石市教育委員会社会教育課長・駒井 昭雄氏から「社会教育関係職員と社会教育施設の役割」というテーマで黒石市の事例を参考に講話をしていただきました。特に公民館での役割については従来の目的や機能から変遷してきていること、指定管理制度の導入などにより社会教育関係者や地域コーディネーターとの関わりが変わってきていることなど自身の経験に基づいた有意義なお話をいただきました。

駒井昭雄氏による講義



社会教育関係者に必要な役割

- ・ 一人ひとりが主体的に学習できるための支援
- ・ 地域の生涯学習の場の提供
- ・ 人と人をつなげる役割
- ・ 「住んでよかった」と言える地域づくり

(つづく)

(つづき)

コミュニティ形成のポイント“ 4つの助 ”

- ① 自 助・・・・・・ 自分の力
- ② 互 助・・・・・・ 隣近所が互いに助け合う
- ③ 共 助・・・・・・ 近隣の地区や町内で助け合う
- ④ 公 助・・・・・・ 国や自治体が助け合う

◎ 地域を活性化させるためには、若い世代をいかに巻き込むかがカギ！

4. 演習・情報交換

午後の演習では当センター教育活動支援課小森課長より受講者同士のネットワーク形成を図るため情報交換が行われました。グループ内のコミュニケーションと協力・活性化を図るため「卒業旅行」や「ラベルワーク」などの演習が行われました。

演習ではグループ内のメンバーが協働することで、コミュニケーションを深めていきました。最後に、受講者全体で名刺交換が行われました。

**〈講師紹介〉**

駒井 昭雄 氏（黒石市教育委員会 社会教育課長）

黒石市の地域活動や社会教育行政に長年に渡り尽力され、現在、第12期青森県生涯学習審議会委員を務めるなど、生涯学習・社会教育の分野で活躍している。